

# 協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報

京都府中小企業団体中央会

平成24年度北部地域組合代表者会議を開催	1
特集 2012年版中小企業白書のポイント No2	2~3
再発見! 連携のチカラ No61 協同組合高知機械工業団地(高知県)	4
トラック運送業における燃料サーチャージ制について	4
京のほんまもん No26 京あられ・京おかき	5
平成24年度京都府中小企業優良従業員表彰の実施のお知らせ	5
中央会NEWS 組合事務局代表者会議を開催	6
京都経済お天気	7
「中小企業IT経営力大賞2013」募集のお知らせ	7
「家族や地域の大切さに関する作品コンクール」作品募集のご案内	7
KCインフォメーション配信登録募集中!	8

## 平成24年度 北部地域組合代表者会議を開催

去る7月11日(水)、福知山市のサンプラザ万助において、北部地域会員を対象とした組合代表者会議を開催、組合代表者をはじめ、行政・関係機関等からのご来賓を含め88名が出席した。

第1部では、山下信幸副会長が主催者挨拶を行った後、大里茂美専務理事より平成24年度の本会重点事業、人材確保・定着支援事業及び中小企業等エネルギー対策交付金(府緊急支援補助制度)概要を説明、引き続き、株式会社丹後蔵(京丹后市)の高田茂吉取締役(COO)を講師に招き、「連携の力・新たな力~京の『いもたん』誕生秘話~」を演題に講演会を開催した。

講演では、20年前より年々日本酒販売数量が大幅に減少続ける中、なんとかせねばと京丹後市内の酒造会社が検討を重ね「焼酎造り」に取り組むこととなった。6年程前まで「米、麦、蕎麦、芋」の4つについては特産品焼酎としての免許(特産品としての条件付き)が取得できなかったため、「特産品になる物を考えよう」と立ち上げたのが「ヤーコン焼酎研究会」だった。平成18年に中央会助成事業「京ブランド・新分野開拓事業」を活用し研究を重ねていた中、時代は変わるもので、免許取得に係る条件緩和がなされ、「芋」でも免許が取得できることとなり、焼酎の免許を取得するために京丹後市内の酒造会社5社により株式会社丹後蔵を設立。「ヤーコン焼酎研究会」で培った焼酎製造のノウハウや人脈を駆使することで、株式会社丹後蔵の方向性を「芋焼酎」製造に置くこととした。北近畿初の「京かんしょ」(鳴門金時種)と名付けたブランドサツマイモを原料として製造する焼酎「いもたん」の販売力を上げるために、「デザイン」を重視し焼酎のブランド化を図っていかねばならないと考えた。今、海外展開の話もあり、ラベルのアルファベット表記やボトルの背を低くすることで飲食店用にもできるようなデザインにすることを検討中である。

昨年、日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会(SSJ)の、「チーズ(コンテ)とピッタリ本格焼酎・泡盛大show」部門で「いもたん」がプラチナ賞を、「酒の肴(松前漬)とピッタリ本格焼酎・泡盛大show」部門で「いもたんHIKO」がブロンズ賞を受賞した。また、つい数日前に税務署より米焼酎の製造免許申請を受け付けるとの内諾も頂戴し、新たな焼酎を作って行く環境が整った。これまで市役所や農家、関係機関などと築いた人脈が後々非常にプラスに働いている。規制があっても突破口を見出し、どんどんトライしていくことが大切だ、と語られた。

第2部の交流懇親会では、去る6月26日開催、本会通常総会及び理事会において選出された役員及び顧問を紹介、渡邊隆夫会長が開宴の挨拶を行った後、来賓を代表して京都府中丹広域振興局 木村学局長、松山正治福知山市長から祝辞を頂戴した。その後、綾部商工会議所 由良龍文会頭の発声により乾杯、歓談交流が行われ、早瀬隆之副会長による中締めとなり閉会した。



開会挨拶：  
山下信幸副会長



閉会挨拶：  
早瀬隆之副会長



講演：株式会社丹後蔵 高田茂吉取締役

## 抜粋

## 第2部 第2章 第2節 需要の創出・獲得に挑む事業活動

～社会環境の変化に対応する女性の事業活動～

前号（2012年7月号）では、国内事業を活かし海外需要を取り込む中小企業についてご紹介しました。

ここでは、個人向けサービス分野の消費が拡大傾向にある中で、女性が起業することで提供されるサービスが社会における需要を掘り起こしている事例を、2012年版中小企業白書の第2部第2章第2節の「社会環境の変化に対応する女性の事業活動」より抜粋してご紹介します。

人口減少に伴う内需減少が見込まれる我が国において、中小企業が成長するためには、海外需要を取り込むことだけでなく、新たな視点から、潜在している内需を掘り起こすことも、有効な取組の一つである。

個人向けサービスへの需要が増加傾向にある中で、女性の起業による新たなサービスの提供が、個人の生活を充実させるだけでなく、家事・育児を負担する女性が就業する際の課題解決につながり、女性の社会参加や更なる課題解決サービスの拡大という好循環をもたらす可能性がある。

## 子どもに夢と職業意識を与えるため、地域の大人達との出会いを提供する女性起業家

神奈川県川崎市の特設非営利活動法人キーパーソン21（事務局スタッフ8名）は、キャリア教育プログラム「夢発見プログラム」を開発し、これまで2万人以上の子ども達にキャリア教育を行っている法人である。同プログラムは、社会人に仕事内容等取材する「かっこいい大人ニュース」等のワークショップを通じて、子ども達が、普段は簡単に接することができない大人の仕事に触れ、生き方や職業観を学べるように構成されている。

同法人の朝山あつこ代表理事は、長男の「高校に進学しない。」という言葉为契机に、「現代の子ども達は、地域や家庭における明確な役割がなく、大人と接する機会も少ない。そのため、自分達が何のために勉強をするのかがわからなくなっている。」と考えるようになり、「子ども達には、働く大人との出会い、夢や職業意識を持ってもらいたい。」との思いから2000年に同法人を設立した。

「子ども達には、わくわくして動き出さずにはいられない原動力のようなものを探し出し、自分に素直に生きてほしい。」と語る朝山代表理事は、同プログラムを経験した子ども達が夢や職業意識を獲得し、次世代の子ども達に社会への憧れや希望を与えられるようなキーパーソンになってもらいたいと考えている。



夢発見プログラムの実施風景

プロボノ※<sub>1</sub>支援を受け、エシカル※<sub>2</sub>ジュエリーのパイオニアとなった女性起業家

東京都港区の株式会社HASUNA（従業員10名、資本金950万円）は、エシカルジュエリーの制作・販売を行う企業である。同社は、素材調達から生産・流通までの過程を可視化することにより、「一生に一度の結婚指輪には、誰かの不幸の上に成り立つものを使いたくない。」という社会的意識の強い女性を中心とした、若い世代の需要を掘り起こしている。

同社の白木夏子社長は、2006年に金融業界に就職したものの、リーマン・ショックで業界全体に危機感を抱き、働きながらの起業準備期間を経て、2009年に同社を立ち上げた。学生時代に訪れたインドの鉱山での劣悪な労働環境に疑問を抱いていた白木社長にとって、ジュエリーの分野は前職とは無関係であったが、ジュエリー制作の学校で作り方を学び、技術を身につけた。

また、テレビや雑誌、新聞等プレス向けの広報業務や顧客管理・在庫管理のシステム構築といった専門的な業務については、SNS（Social Networking Service）や友人の紹介で知り合った、各分野の専門家であるプロボノの方から多くの支援を受けた。同社のプロボノ登録者は、当初5名前後であったが、現在では60名にも及ぶ。

「起業時はプロボノ元年と呼ばれていた。仕事の傍ら社会的事に関わりたいという人が増えてきており、非常に多くの人に助けられた。」と語る白木社長は、プロボノの支援を受け、事業継続と社会的課題解決の両立を目指している。

※1 プロボノ（pro bono）とは、「pro bono publico」を略した英単語で「公益のために」という意味。実際には、「公益のために無償で仕事を行う」ことを指しており、ソーシャルビジネス推進研究会報告書（2011年3月）では、「企業人材や士業等の専門家によるスキルを活かした社会貢献活動」としている。

※2 エシカルジュエリーとは、環境や社会に配慮をした素材・フェアトレードやリサイクルの素材を使用したジュエリーのことを指している。



HASUNA 社員・インターン・プロボノメンバー

## 地元の宿泊施設と生産者をつなぐ女性起業家

福島県会津若松市の特定非営利活動法人素材広場（従業員5名）は、県内の旅館・ホテル等の宿泊施設と農作物・工芸品等の生産者を交流会やインターネットを介してつなぐことで、県内の地産地消を推進する法人である。

同法人の横田純子理事長は、大手旅行情報誌で営業兼ライターとして10年間勤務した後、2005年に独立し、県内の旅館に対して、集客や顧客満足度を高めるためのコンサルティングを始めた。「当時、旅館等の料理長は、県外から来ている方が多かったため、福島の食材に関する情報が不足しており、福島の食材が手に入りにくい状況であった。」と語る横田理事長は、料理長と生産者をつなぐ取組として、交流会を実施する福島県宿泊施設地産地消推進委員会を立ち上げ、この委員会を母体として2009年に同法人を設立した。

「福島の素材を観光客に楽しんでもらうことが目的であり、食材だけでなく、お箸やお皿等テーブルの上にある素材全てが福島産となることが、究極の目標。」と語る横田理事長は、宿と生産者をつなぐことが、観光産業を中心とした地域振興に不可欠と考え、精力的に取り組んでいる。



地産地消イベント「会津・麗（うるわし）の食スタイル」の準備風景

## 支え合いにより家事・育児の課題を乗り越えて起業した主婦グループ

長野県松川村の有限責任事業組合こめのこ工房なごみや（組合員6名、従業員6名）は、地元信州安曇野産の米粉を使用したパンやケーキを製造し、地元の道の駅・農協直売所やネットで販売している。

同組合の組合員及び従業員は全て、松川村の郷土料理講習会に集まった子育て世代の主婦である。そのため、家計に影響が及ばないように、起業時に必要であった設備を中古で購入し、設備投資を自己資金の範囲内に抑えた。

また、就業形態についても、土日・祝祭日、夏休み・冬休みを休業とするだけでなく、出勤日を週3日程度、勤務時間を午前か午後と設定することで、家事・育児をしながらでも、働きやすいような環境を整備している。

「母親でも事業はできる。しかし、一人で起業することは困難であり、複数人で支え合ってやるのが大事。」と語る同組合の吉森里和組合員は、「売上を拡大するという考えではなく、負担のない範囲で、お小遣い程度に稼げれば良いという考えを皆で共有していることが、うまくいっている大きな要因。」と考えており、子育てをしながら働ける場所という意識を、全員で共有することの重要性を指摘する。



信州安曇野産の米粉を使用したパン

## 女性の職域拡大により、社内の活性化に取り組むものづくり企業

滋賀県東近江市の株式会社寺嶋製作所（従業員130名、資本金1,800万円）は、炊飯ジャーの内釜や電気機械器具等の板金プレス加工を行う企業である。

女性の職域拡大に取り組む前の同社の工場は、他のプレス工場と同様に、男性中心の職場であった。しかし、「ひたむきな努力」、「常にチャレンジ」を社是に掲げる同社の寺嶋嘉孝社長は、約10年前から安全性の高い機械設備を導入することにより、生産ラインでも女性が活躍できるよう、職場環境を整備した。

また、2007年には職場の風土改革に取り組み、就業規則の見直しにより、パートから正規への転換を可能にした。

現在、同社の工場では20名近くの女性が生産ラインに配属されている。また、生産ラインの改善提案においても、表彰される提案の多くが女性によるものとなっており、これらの提案は「省スペースでも生産効率を維持するという視点が明確。」と、寺嶋社長は語っている。

さらに、プレス工場で必須となっているフォークリフトの運転についても、2名の女性が資格を取得した。

寺嶋社長は、「女性の職域拡大により、フォークリフトの運転のような、これまで、女性がいなかった業務分野でも、女性が責任を持って自分の役割を果たせるようになり、自信が生まれた。一方、男性も、自分の職域にとどまることなく、他の仕事でも職場を良くしたいという意識に変化した。」と語っており、女性の職域拡大による相乗効果が、社内に活気をもたらしている。



生産ラインに従事する女性従業員

共同事業等に先進的に取り組んでいる組合事例をご紹介しますこのコーナー。今回は、青年部が中心となり組合の防災マニュアルを策定した事例です。

## 団地内従業員の命を守る!

### 協同組合高知機械工業団地（高知県高知市）

30年以内の発生確率が60%と想定されている南海大地震に備え、高知県製造業の中核機能を維持するべく、青年部が中心となって組合オリジナルの防災マニュアルを策定。

#### 背景と目的

平成18年に「地震救急連絡通報システム」ができたとの情報が組合員企業に入り、理事会の議題に上がった。その時点では、システムの導入は見送りとなったが、「地震についての防災には取り組まなくてはならない。」という点では意見が一致。議論する中で、組合としての「防災マニュアル」を策定することとなった。そして、若手経営者等が30年以内の発生確率60%とも言われている南海大地震に直面するリスクが一番高いとの考えから、発足したばかりの青年部（名称：マインテック・ユース）が主体となって防災マニュアル作成プロジェクトを遂行することとなった。

#### 事業・活動の内容

プロジェクトの主な内容としては、高知県中小企業団体中央会の助成事業を活用して、団地内における防災・災害危機管理体制の確立と組合員企業における災害時の早急な復旧・事業継続体制の構築促進を目指し、青年部メンバーが中心となって地震災害・防災・ライフライン等に関する専門家等を招聘、団地内共通での取り決めや実施すべき事項などを取りまとめた「防災マニュアル」の策定を行なった。

具体的には、災害時における組織体制の確立・緊急連絡網の整備、情報収集先の決定、団地内における資機材、組合員企業の平時の備え、災害時の行動基準について、防災訓練及び防災教育等について決定、等が掲載されている。



防災マニュアル等の事例研究会



非常衛生電話の使い方講習会

#### 成果

大きなポイントは、コンサルタント等に委託して作成したマニュアルではなく、組合が出来ることを前提に組合員同士の話し合いを軸に策定しているため、実用的かつ現実的な防災マニュアルとなっている点である。このことは、防災の専門家からも非常に高い評価を得ており、また、防災マニュアルの生命線である「策定後の定期的な改訂作業の容易性」にも大きく影響していると言えよう。

今後は、先に発生した東日本大震災を教訓として、現在の想定を遥かに超える規模の南海大震災が発生することを前提とした防災マニュアルの改訂作業を行なう必要があると共に、個別企業のBCP策定に関する支援へのステップアップが望まれる。

#### 《組合DATA》

協同組合高知機械工業団地

〒781-5101 高知県高知市布師田3961番地

☎ 088-846-1171 FAX 088-846-1170

URL <http://www.kbiz.or.jp/kumiai/mintec-kochi/index.php>

## トラック運送業における燃料サーチャージ制導入の促進等に関する協力要請について

国土交通省 近畿運輸局 京都運輸支局

原油価格高騰がトラック運送業者に与える影響は大変深刻なものとなります。

トラック運送業では、燃料サーチャージ制を導入、燃料価格の変動によるコストの増減分を別建て運賃として設定できることとしています。

今後、これを基にした運送業者からの提案があった場合には、燃料サーチャージ制を導入していただき、ガイドラインを参考に、価格協議に応じない、一方的に他の運送業者に運送委託するなどの不適正な取引になりませんよう、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

【トラック運送業における燃料サーチャージ緊急ガイドライン】 <http://www.mlit.go.jp/common/000211177.pdf>

【トラック運送業における下請・荷主適正取引推進ガイドライン】 <http://www.mlit.go.jp/common/000017296.pdf>

【適正取引相談窓口】 <http://www.mlit.go.jp/common/000211178.pdf>

京都運輸支局 輸送・監査部門 ☎075-681-9765

(地域団体商標登録)

「あられ」や「おがき」等の米菓は、お米を原料とする加工食品ですが、そのお米は、昭和17年以来平成7年まで食糧管理法による統制が行われていました。米の絶対量が不足している時代は、主食用への配分が優先され、このため、加工用向けは後回しとなり、原料米の確保に苦労していました。こうした原料問題等を米菓企業が一致団結して解決するため、昭和25年に中小企業団体の組織に関する法律に基づき、京都米菓工業協同組合として設立しました。当初の主な事業は、原料米の確保・配給でしたが、現在は原料米の共同購入・共同保管を主な事業としておこなっております。そして、その中で京都府内の自社工場で昔ながらの丸粒蒸し（蒸籠等で米粒のまま蒸しあげる）製法等で餅を作り、時間をかけて自然または低加熱で無理をせずに乾燥し、香ばしく焼き上げた「本当の米本来の味ができる」製品だけを「京あられ」「京おがき」として表示しています。また「京あられ」「京おがき」は地域団体商標の登録もおこなっており、他産地や組合員外の業者の商品と識別及び不正に使われないようにしています。

当組合では、これをブランドそのものと考えております。また、社団法人京都府食品産業協会の京ブランド食品推進事業にも参画し、各事業所が商品開発等を行い、ブランド力強化を目指してい



京都府食品産業協会の認定を受けた京ブランド食品



京あられ・京おがきシール

ます。その他、消費者による食の安心・安全が高まる中で、食品表示に係る研修会等にも積極的に参加し、情報収集や提供を行っています。今後もこういった活動を推進してまいります。

《鳴海 健治理事長よりひとこと》

インターネットで「京あられ」を検索すると他府県産の商品や組合員でないお店の商品が多く見られます。平成18年に地域団体商標の登録を受けてから6年が経つのですが、これらの状況を今後どのようにしていくのか、またブランドを守るために登録後の展開をどうしていくのか苦慮しています。

「京あられ」「京おがき」のブランド力を高めるには、新たな展開に進めていかなければなりません。様々な課題等ございますが、後継者となる若い世代の方々には、できるだけ早く組合の運営に関っていただき、皆さんで知恵を出しながらブランドを守り、次世代につなげていきたいと思っております。



【組合DATA】

京都米菓工業協同組合  
〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17番地  
京都府中小企業会館5階  
☎ 075-314-5511 FAX 075-313-5686  
URL <http://kyoarare.com/>

平成24年度京都府中小企業優良従業員表彰の実施のお知らせ

京都府では、多年にわたり業務に励んでこられた従業員の方々の功績をたたえるため、毎年、中小企業優良従業員表彰を行っております。

本年度においても、下記のとおり実施しますのでお知らせします。

1 受彰資格

京都府内にある中小企業の事業所に勤務し、次のすべての要件を備えている従業員の方

- (1) 平成24年8月31日（基準日）現在で同一企業の京都府内の事業所に満25年以上勤務している者
- (2) 専心その業務に励んでいる者
- (3) 特に研究心がおう盛で、かつ、技術に優れ、他の模範となる者
- (4) 特に勤務成績が優秀で他の模範となる者 ほか

※会社の役員や個人企業の共同経営者等は表彰対象から除きます。

2 申請期間

平成24年8月30日（木）まで（締切厳守でお願いします。）

3 受付機関

- (1) 京都市、向日市、長岡京市及び大山崎町に事業所を有する場合 …京都府商工労働観光部ものづくり振興課
- (2) 上記以外に事業所を有する場合 …各広域振興局商工労働観光室又は市町村商工担当課

4 申請書等様式

府内各中小企業団体様あてにお送りしていますのでそちらをご利用いただくか、受付機関までお問い合わせください。

5 表彰の決定

中小企業関係表彰等審査委員会の審査等を経て知事が決定します。

6 表彰式

平成24年11月に開催予定

【お問合せ】 京都府商工労働観光部ものづくり振興課 中小企業育成担当 ☎ 075-414-4851

## 組合事務局代表者会議を開催

本会では、7月9日(月)、リーガロイヤルホテル京都において事務局代表者会議を開催、組合事務局代表者等約50名が出席した。

本会議は、関西地域における今夏の電力不足が懸念されることから、中小企業等が取り組む省エネ・節電・ピークカット対策に寄与する事業に対し緊急支援を行うことが京都府の6月補正予算において決定され、これらの緊急支援と平成24年度の中央会が実施する受託事業について説明を行い、組合や組合員企業での活用を呼びかけた。

今回説明を行った京都府補助事業の「中小企業等エネルギー対策交付金」(緊急分)のうちで「軽微な設備導入補助金」、また、「地域ものづくり企業設備投資支援事業費補助制度」、「京都企業設備投資支援事業費補助制度」は7月末で終了。現在募集している事業の概要については次の通りで、詳しくは本会ホームページをご覧ください。

### <中小企業エネルギー対策交付金【緊急分】(京都府補助事業)>

<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/guide/josei/cat2/post-10.html>

#### ●中小企業節電勤務シフト体制導入補助金

中小企業等が平日の昼間電力ピーク時に電力を使用する生産設備等の稼働を休停止し、節電対策に寄与することに対する緊急支援を行う。

補助対象期間：平成24年7月2日～9月7日の平日(土日・祝日、8月13日～15日除く。)

#### ●家庭での使用電力の削減につながる集客事業補助金

家庭での使用電力を削減させるため、商店街団体等が取り組む事業に対する緊急支援を行う。

補助対象期間：平成24年7月2日～9月7日の平日(土日・祝日、8月13日～15日除く。)

### <中小企業エネルギー対策交付金【中長期分】(京都府補助事業)>

<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/whatsnew/20120621ene%20tyuu%20gaiyou.pdf>

#### ●自家発電設備等導入支援事業

慢性的な電力供給不足が懸念される中、電力不足も左右されず安定した操業が行えるよう、自家発電設備を導入し経営の安定化を目指す企業に対して導入経費の一部を補助する。

申請締切：平成24年8月31日(金)

#### ●エネルギー自立化対策事業

再生可能エネルギー又はコージェネレーションの創エネ設備とエネルギー制御システムや蓄電池などの省エネ設備を組み合わせ、多様なエネルギーを活用した経営のイノベーションモデルとなる取組を行う中小企業を支援し、成果を発信することで京都産業のエネルギー自立化を推進する。

申請締切：平成24年9月28日(金)

### <地域中小企業の人材確保・定着支援事業(中央会受託事業)>

<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/blog02/>

大学生等が京都府内の中小企業に就職することを促進させ、さらにその確保した人材の育成や定着を進めていくための総合的な仕組みづくりや、各機関・団体等が実施する事業内容の情報収集・調整、事業連携の推進、さらに必要な事業の企画・運営等の協議調整を行う。

### <京都府最低賃金総合相談支援センター(中央会受託事業)>

<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/whatsnew/20110805saitinn.pdf>

経営面や労働面など幅広い課題にワンストップで相談対応する窓口。専門家を各企業に派遣し、個別にコンサルティングを受けることもでき、相談及び専門家派遣はすべて無料。



## セミナー・研修をお考えの組合・団体様へ

# 組合主催 企業研修プラン

忙しい組合様をお手伝いします!

研修のプラン作りから実施まで全て当社にお任せください!

- 「何かを改善しないといけないが、どこに原因があるかわからない」
- 「人材定着のための何か良い策はないものか」
- 「経営者だけでなく、中堅、若手にも他社との交流の場があればよいのに」

会員企業様のそんな御声にこたえるために「組合主催の研修」というイベントを開いてみませんか?

### お問合わせの多い今注目のセミナー

- 営業マン即戦力社員研修
- 営業成績向上のためのセールス研修「顧客を動かす力とは?」  
すぐに役立つ実務知識研修
- 悪魔のサイクルを天使のサイクルにする業務改善セミナー
- 部下指導「リーダーとしての話し方研修」
- 部下に結果を出させる上司力とは?
- 成果を上げてもらうためにリーダーに必要な2つの会話スキル  
接客マナー研修
- もう怖くない「クレーム対応実践講座」
- クレーム対応「顧客の何気ない一言・二次クレームの防止」
- ホスピタリティマインド(CSセミナー)

### 研修実施に関する細かい相談承ります!

- 募集のためのツールの作成
- 会員各社へのヒアリング
- 実施会場の手配

なんでもお気軽にご相談ください!

# ICL ☎075-254-7311

株式会社アイシーエル

URL <http://www.icl-web.co.jp>

E-mail [seminar@icl-web.co.jp](mailto:seminar@icl-web.co.jp)

〒600-8009

京都市下京区四条烏丸西入ル

京都産業会館 2階

営業時間 9時～18時(土・日・祝日は休業)

	業界景況天気図	概況	
全体	5月→6月 	一部では景況感に回復が見られるものの業種間・企業間に格差が見られ、製造業では全業種で悪化となった。今夏の電力不足問題、長引く円高及び欧州経済不安、原材料価格の高騰、激化する価格競争等、不安材料の多い厳しい経営環境の中、各業界・企業の努力により持ちこたえている状況にある。	
製造業	繊維・同製品 	洋装関連も和装関連ともに先がまったく見通せない状況が続いている。	
	出版・印刷 	節電、計画停電の影響が心配される。	
	鉄鋼・金属 	6月度の状況は前月とほとんど変化はなく、業種別に見ても全般的に良くない。長引く不況と円高等でいよいよ中小企業にとっては資金難が心配される。輸出関連の大企業を客先に持つ企業も打撃を受けている。	
	一般機械等 	円高や原油高、原材料高等の様々な要因により厳しい状況下にある。円高が進行するとともに、アジア各国の製造スキルの高まりにより大手企業は海外生産・調達の方角性が鮮明になっており、国内中小製造業のグローバル化対応は大きな課題である。	
5月 ↓ 6月 	その他製造業 	プラスチック製品製造業界では、自動車部品関連やLED部品関連等新製品関連は持ち直しつつある。他の部門は、欧州の信用不安や中国の景気減速から輸出の低迷の影響で回復感は乏しく、一進一退の状況が続いている。	
非製造業	卸売 	機械器具卸売業界では、名古屋方面では、自動車関連の仕事が順調で景気は良くなっているが、京滋地区は低迷している。生鮮食品卸売業界では、関西電力による計画停電に対する対策が7月以降の課題であり、冷蔵庫・製氷・いけすの魚等への対策が必要となる。	
	小売 	自動車小売業界では、エコカー補助金により新車販売が好調である。燃料小売業界では、原油安、製品安の連続でサービスステーションの店頭市況は続落し、仕入値下げ以上の店頭値が相次ぎ、下げ過ぎの地域が拡大している。	
	5月 ↓ 6月 	商店街 	国会での消費税率上げの法案審議が進み、家計への負担増感、先行き不安感から消費が控えられているようだ。全体に低調な感じの月であった。
	サービス 	旅館業界では、修学旅行生の宿泊以外は例年より少なかったようだ。修学旅行生は少子化が進み、宿泊人員は年々少なくなっている。情報サービス業界では、組合員各社は減少しているシステム開発の仕事に頼らず、異業種参入も含め新規事業への展開を模索している。	
	建設 	工事発注を控えて様子見の傾向が続いているが、少し発注に動きの気配がある。だが、まだどのような展開となるかわからない。	
	運輸・倉庫 	道路貨物運送業界では、荷動きについては特に変化はないが良い話は聞かない。道路旅客運送業界では、修学旅行受入対応をしている組合員は、日中においてのみ活発な動きを呈しているが、それ以外は動きが少ない。	

快晴 DI値 40以上	晴れ 20~40未満	曇り 20未満~△20未満	小雨 △20~△40未満	雨 △40以上
----------------	---------------	------------------	-----------------	------------

## 「中小企業IT経営力大賞2013」募集のご案内

「中小企業IT経営力大賞」とは、経済産業省が関係機関の共催・協力のもとに主催する平成19年度に創設された表彰制度です。優れたIT経営を実現し、かつ他の中小企業がIT経営に取り組む際の参考となるような中小企業や組織に贈られます。

### IT経営とは？

経営戦略・経営革新の実現のために、次に例示するような、ITを高度に活用する経営スタイルを指します。

- 業務プロセスの再構築にITを活用した顧客満足や生産性の向上
- ITを活用した事業継続やサプライチェーンの維持などリスク分散化等災害対応力の強化
- 取引・顧客情報などを利用した営業・マーケティングの改革、新製品や新サービスの開発
- ネットワークインフラ整備による社内、遠隔地、モバイル環境でのコミュニケーションの充実
- ノウハウの蓄積・共有による人材の強化、ビジネスの付加価値の向上
- 業務プロセス全体の可視化によるマネジメントの高度化
- ITの活用による新たなビジネスモデルの構築
- その他、ITの活用による企業競争力強化など

### 募集期間

平成24年7月13日（金）～9月28日（金）午後5時まで  
 事前申込期限：平成24年9月7日（金）  
 書類提出期限：平成24年9月28日（金）午後5時まで

募集要領等詳しくは、「中小企業IT経営力大賞」ホームページをご覧ください。

URL <http://www.it-keiei.go.jp/award/>

中小企業IT経営力大賞

## 「家族や地域の大切さに関する作品コンクール」 作品募集のご案内

内閣府では、平成19年度から11月第3日曜日を「家族の日」、その後各一週間を「家族の週間」と定め、この期間を中心として家庭や地域の大切さ等について理解促進を図っています。この「家族の日」、「家族の週間」の事業の一環として、家族や地域の大切さに関する写真及び手紙・メールを公募し、優秀な作品を表彰しています。

あなたのあたたかい気持ちを作品にしてご応募ください。

### 【写真部門】

テーマ1：子育てで家族の力 《子育てで家族のきずな、子どもと深める家族のきずな》

テーマ2：子育てを支援する地域の力 《地域ぐるみで子育て支援》

### 【手紙・メール部門】

テーマ：子育てを家族みんなで支えあうことの大切さ、感謝などの思いを伝えるもの、または子育てを社会も応援していくことの大切さを訴えるもの

### 【募集期間】

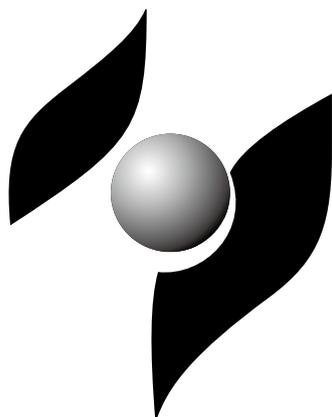
平成24年7月1日（日）～9月7日（金）

募集要領等詳しくは、内閣府「家族の日」「家族の週間」ホームページをご覧ください。

URL <http://www8.cao.go.jp/shoushi/kazoku/index.html#event>

### 【お問合せ】

家族や地域の大切さに関する作品募集事務局 TEL 0120-375-279



人を思う。未来を思う。

# 商工中金

## 新型定期預金

# マイハーベスト

### 有利な金利設定

通常の債券・定期預金（固定金利）より 高めの金利（当金庫内比較）  
をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

### 固定金利の半年複利

着実に、そして効率よく資産を増やせます。

### 1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

- お預け入れは、50万円以上 1円単位です。
- お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
- 詳しくは店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

## 商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

# 商工中金

登録はお済みですか？ 京都府中央会メールマガジン

## KCインフォメーション配信登録募集中！

京都府中央会では、施策情報をはじめ本会や関係機関等からのイベント情報等について、電子メールにより情報配信を行っています。組合員企業への情報提供にもご活用頂ける内容ですので、ぜひご登録下さい！

■配信日 月3回（10日・20日・30日）  
※但し、配信日が土・日・祝日の場合は、原則としてその前日に配信

■登録方法 京都府中央会ホームページ「メルマガ配信サービス」よりご登録下さい。  
URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp/>  
※ホームページの閲覧が困難な場合は、本会までご連絡下さい。

■お問合せ 京都府中小企業団体中央会 総務情報課  
☎ 075-314-7131

## なが——い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、  
積み立てる、備える、管理する…

京都銀行は、人生のさまざまなシーンで

皆様を応援します。

お気軽にご相談ください。

飾らない銀行

# 京都銀行

<http://www.kyotobank.co.jp/>

## お詫びと訂正

協同2012年7月号掲載(P5)の「扇子・うちわ展」の開館時間に誤りがありました。

お詫びを申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

### 扇子・うちわ展

日時 平成24年7月5日（木）～平成24年9月4日（火）  
10：00～16：30（最終日は15：00まで）  
※8月1日（水）～8月18日（土）は12：00～18：30  
※水曜休廊日

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を付した12色を創作したうちの「貴船の川面色」です。

月刊中小企業連携組織活性化情報 協同

8/2012 平成24年8月1日発行 通巻788号

編集・発行

### 京都府中小企業団体中央会

京都市右京区西院東中水町17(西大路五条下ル) 京都府中小企業会館4階

☎ 075-314-7131 FAX 075-314-7130

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail [web@chuokai-kyoto.or.jp](mailto:web@chuokai-kyoto.or.jp)